

ロック板とゲートのない駐車場システムでトラブル減少 駐車券紛失の心配もなく、入出場のしやすさも向上



導入先

三井不動産リアルティ株式会社さま

- 東京都千代田区(本社)
- 1969年設立。コインパーキング「三井のリパーク」を全国で展開され、カーシェアリング事業も行われている。また一戸建など個人向け不動産仲介事業「三井のリハウス」や、法人・投資家向け不動産仲介事業も展開されている。
- 三井のリパーク 日本橋蛸殻町1丁目第8(本物件) / 東京都中央区



導入商品

コインパーキングシステム

- 精算機 RZ-P101U×1台
- ネットワークカメラ(PTZ) YK-P02AG×3台
- 在車センサー RZ-P201×18台
- 各地の「三井のリパーク」で、新規や既存の管理システムからの置き替えにより順次導入。(導入機種・台数は本物件分)

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

当社のコインパーキングでは、これまでロック板やゲートバーを使った方式が主流でした。こうした設備はメンテナンスが必要なおえ、動作しなかったり車両と接触したりした時のトラブル対応も大変だったので、それらを使用しない新たなシステムを導入しようと考えました。

在車センサーやカメラを活用した駐車場システムで、ロック板やゲートのメンテナンスが不要に。

設備の不具合によるコールセンターへの問い合わせが減少し、業務が大幅に効率化。

チケットレスなので、利用者が駐車券を紛失する心配がなく、入出場しやすく満足度もアップ。



三井不動産リアルティ株式会社
シェアリング事業本部
リバース推進二部 事業企画グループ
シニア アソシエイト
山寺慎太郎さま

■ 導入の背景

メンテナンスが大変なロック板式に替えて、カメラ式の駐車場システムを導入したい。

当社が各地で展開している「三井のリパーク」では、これまでロック板やゲートバーを用いたシステムを利用していました。こうした設備はメンテナンスが大変で、車両と接触してしまうトラブルが発生する恐れがあるうえに、車室をコインパーキングスペースからカーシェアに変える際にはロック板の除去作業が必要でした。そのため、2024年度からカメラを用いた次世代の駐車場管理システムの導入を検討することになりました。

■ 選ばれた理由

少ないカメラで広い範囲を映せるので、中規模でもコストメリットを得られる。

シャープの駐車場向けソリューションは、広い範囲を映せるPTZカメラを使用するため、設置台数が少なく済み、小規模な駐車場だけでなく中規模のコインパーキングでも採算がとれる点が評価できました。駐車場の規模や予算に応じて、カメラを使ったゲートレス車番認識方式と在車センサー方式を選べるのもメリットです。施設附帯駐車場ではトラブル発生時に素早い対応が求められますが、シャープはこれまで迅速に対応してもらえて信頼できたのも後押しになりました。

■ 導入後の効果

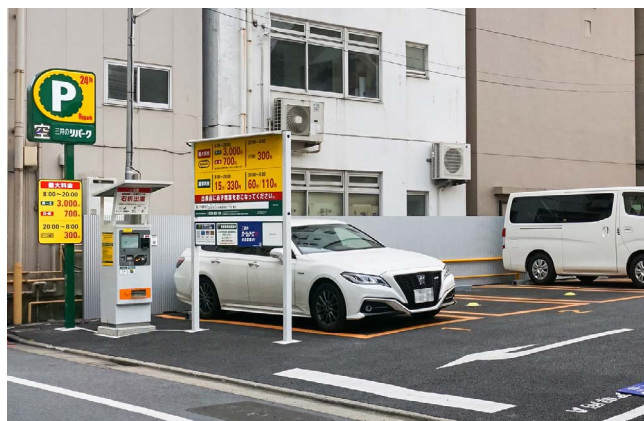
ロック板とゲートをなくして使いやすさ向上。設備管理の手間とトラブルを大幅に削減。

ロック板やゲートバーを用いた機器システムから転換したことで、管理の手間を大幅に減らせたうえ、これまでコールセンターに寄せられていた、ロック板やゲートが開かないなどのトラブルの問い合わせもなくなり、大幅に業務を効率化できました。パーキングの利用者さまも、チケットレスのため駐車券を紛失する心配がなく、入出場時に発券機に車を寄せる必要がなくなったので、使いやすくなり、満足度アップにつながっています。

■ 今後の展望

店舗レシートでの駐車サービスを検討。土地オーナーにメリットを訴求し広く展開。

今回導入したソリューションでは、店舗レシートのバーコードを精算機で読み込ませて駐車料金を割引できる機能があるため、店舗レジのオペレーション効率化に寄与することができます。また土地オーナーさまには、ロック板やゲートバーが不要のため設置・撤去作業がより速く、土地を傷めないうえに、カメラで常時監視できて安心して運営できるメリットを訴求して、全国各地で提案していきたいと思っております。



ゲートレス、ロック板レスで利用者が使いやすく、トラブルも少ない



カメラで撮影された車両の映像が映し出されるので分かりやすい



※イメージ
今後、店舗レシートによる、店舗駐車場の料金割引の導入も検討